

会務報告

第11回 (1992年度) 研究発表会および総会

第11回研究発表並びに総会が、1992年5月16日(土)午後2時30分より、県立教育センター階段教室で開催された。会は1992年度の事業計画案・予算案の審議から始まり、研究会等のお知らせの後、10題の研究発表が行なわれた。多数の参加者で熱気あふれる発表会であった。

研究発表後、恒例の懇親会が同センター内で催され、こちらも多くの参加者を得て盛会であった。

本研究会は、会員相互に支えられた勉強の場である。日頃の研究の成果などを互いに提供し合い、より一層の向上を計るためにも、多くの方々の積極的な参加が望まれる。

研究発表会(発表12分, 質疑3分)

15:00~15:45 座長 高梨 征雄

- (1) ミカヅキモ (*Closterium ehrenbergii*) の接合について
朝倉正海 (県立横須賀大津高等学校)
- (2) 姉妹染色分体交換 (SCE) の検出法の高校生物教育への応用
横溝 均 (県立大師高等学校)
- (3) いろいろな生物の細胞に含まれる仁の数
萩谷盛雄 (県立大和南高等学校) ・
馬淵智生 (聖光学院高等学校)

15:45~16:30 座長 大野 久良夫

- (4) 総合教材としてのフナの解剖
池田博明 (県立青少年センター)
- (5) 水槽内におけるスマトラ (*Puntius tetrazona*) の社会構造の解析と教材化
苗川博史 (湘南工科大学附属高等学校)
- (6) 古地図を利用した地域の環境学習
築瀬公成 (県立津久井浜高等学校)

16:30~17:30 座長 楠元 守

- (7) 生徒の興味をひく生物の授業(聞く生物学と歌う生物学)
早乙女 薫 (都立新宿高等学校)
- (8) クモヒトデの胃壁内の小骨片の系統的意義
入村精一 (元市立戸塚高等学校)
- (9) トンボ個体群を追ってⅧ. 個体追跡観察とその成果
高橋シ・小谷田・小漆・小林・石井・新谷・中村・高橋ヒ・前田(橋本生研グループ)
・田口正男 (県立橋本高等学校)
- (10) 両生類の染色体—その教材化
萩谷盛雄 (県立大和南高等学校)

研究会報告

本年度も3回の研究会を実施した。第1回は6月20日午後2時30分より横浜市立大正中学校にて宮崎裕明先生を講師に「プラスチック封入標本の作り方」を行った。第2回は10月4日逗子市神武寺山および逗子高校にて石橋篤先生を講師に「キノコの観察と教材化」を行った。野生キノコの生態から培養キノコまで、多彩な実習が体験できた。第3回は2月6日清泉女学院にて飯島和重先生を講師に「ブタ腎臓の糸球体の単離」を行った。輸尿管、腎盂、腎小体等の観察は、腎臓に対する観念的なイメージを吹きとばす威力があった。

各々の研究会が、大変有意義であった。以下にその概要を紹介する。